

# 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

東京都

## 1 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

### (1) 東京の過去と現在、そして「10年後の東京」

江戸開府以来400年にわたる首都としての長い歴史と伝統を有する東京は、世界でも例を見ない都市機能の集中・集積を背景に、常に我が国の発展を牽引してきた。

その過程においては、大気汚染やごみの急増、道路の渋滞など、大都市特有の先鋭的な課題にたびたび直面したが、その都度、国や他都市を先導する取組により、局面を打開してきた。さらに先人たちの弛まぬ努力と英知によって、世界でも屈指の成熟都市として、その確固たる地位を築いてきた。

しかし一方で、国際競争の激化による産業の停滞や少子・高齢化の進行などが、東京のみならず日本の世界における存在感に影を落としている。今後の見通しでも、中国のGDPが日本を超えることが確実であることなど、このまま坐して視ているだけでは衰退の道を辿る可能性が高くなってきている。

そこで、東京都は昨年度、「10年後の東京」を策定し、都市機能や最先端技術の高密度な集積など、首都東京が持つ優位性を最大限に活かすことで変革を進め、日本を確かな再生へと導いていく道筋を明らかにするとともに、これをバックボーンとして産業振興における施策展開の方向性を示すため、「産業振興基本戦略」(以下、「基本戦略」)を策定した。

日本を象徴する課題を数多く抱える東京には、それらを解決する新しい産業やビジネスを創造していく役割が期待されている。「基本戦略」は東京の強みを活かした技術と経営の革新により、東京の産業を新たなステージへと飛躍させることによって、東京ひいては日本をさらに魅力的で活力溢れる都市、国家へと発展させることを目指している。

### (2) 東京の産業の特徴

東京における産業の特徴は、おおよそ以下のようになる。

ア 国内総生産額の17.0%、事業所数の11.9%、商業販売額の32.2%を占め、東京の産業は日本経済を牽引している。

イ 都内総生産の3割をサービス業が占めており、サービス経済化が進んでいる。ビジネス支援や生活支援サービスが、活発な企業活動や豊かな生活を支えるとともに、情報・コンテンツ産業など、いわゆるソフトなものづくり産業の大きな集積が最先端の文化やライフスタイルを常に発信し続けている。

ウ 製造業が都内総生産に占める割合は1割程度であり、生産額は10年間で約3割減少している。しかし、高度な技術力をさらに極めつつ、大学・研究機関、大手企業等との近接性を活かし、多品種少量、短納期、複雑な試作などを得意とするものづくり企業も多く立地している。また、市場ニーズを反映した高度なサービス創造の要請が技術革新を促すなど、サービス産業と製造業の融合が進んでいる。

エ 卸・小売業は、都内総生産の2割を占める。そのうち小売業の9割近くを構成しているのは、いわゆる商店(比較的小規模な店舗の多い業態の総称)であり、また、都内には約2,800の商店街が存在し、その多彩な個性と賑わいは、まちづくりやコミュニティの担い手としての役割も期待されている。

オ 農林水産業は、全体に占める割合は大きくないが、例えば農業では、耕地面積1haあたり農業所得は全国平均の1.7倍であり、消費者のニーズをとらえた高収益な経営が行われている点に特徴がある。

カ こうした生産・流通・サービスなど産業活動を各地域で展開しているのは、事業所数で都全体の99%を占め、7割を超える従業者を抱える中小企業であり、中小企業のポテンシャルが、東京の産業活力そのものといっても過言ではない。

キ 東京の経済活性化にとって、観光の果たす役割は極めて大きい。2006年に東京を訪問した内外からの旅行者は、4.2億人に上り、観光消費による生産波及効果は9兆4千億円、雇用効果は53万人に及んでいる。

### (3) 地域産業資源指定及び活用への支援に当たっての基本的な考え方

多彩な産業の活力を有する東京においても、生産拠点の海外等への移転、系列関係の崩壊、後継者難等による廃業などにより、都内の民営事業所数は、1986年をピークに減少を続けており、開業率も1981年以降、4~5%台で低迷している。こうした状況を打開するためには、中小企業が東京において長年にわたって培ってきた独自の技術や特産品などの地域資源を活かし、新商品や新サービスを創出していくことが必要であり、地域産業はもとより、都内産業全体の底上げを図る上で極めて重要である。

既に東京都では、地域資源活用の可能性に着目し、平成15年度より、隣接する複数の区市町村と連携しながら、地域に存する諸資源を最大限に活用し地域産業の活性化を図ることを目的として、3つの地域において「地域資源活用プロジェクト」事業を実施した。

地域産業資源の指定及び活用への支援に当たっては、こうした状況や取組を踏まえ、東京という大都市の特性を活かした以下の視点に立ち、地域中小企業のさらなるイノベーション創出を積極的に推し進めていく。

## ア 多様性

異なるもの同士の出会いと活発な交流の中からイノベーションが生まれる。また、異なるものを受け入れ消化しようとするエネルギーは、伝統と最先端の共存、都市と自然の共存といった、東京ならではの魅力につながる。あらゆる業種・業態の企業から大学・研究機関、多彩な才能・知識・技術を持った人々まで、多様な活動主体が、独自の視点・ユニークな発想から捉える様々な地域産業資源とその活用により、地域の魅力創出を図る。

## イ 先進性

成熟・洗練した巨大マーケットの近接性を利用した先端的な製品・サービスの開発や、健康、環境、危機管理といった大都市特有の課題・ニーズを解決しようとする製品・サービスの開発などの取組には、新産業創出のヒントが多く含まれている。また、他の事業主体への波及効果も高いことから、地域に密着しながら、新たな産業創出につながる先進性を有する地域産業資源の一層の活用を進めていく。

## ウ 国際性

東京は、国内の外資系企業の6割以上が立地し、訪日する外国人の半数以上が訪れる国内随一の国際ビジネス拠点であり、また、世界に向けて強力に情報発信するコンテンツ産業・ファッション産業の集積がある。こうした東京のメディア機能・発信機能を利用し、地域資源を活用して世界市場に向けて飛躍する取組を促進する。

## 2 地域産業資源の内容

東京都において、中小企業による事業を促進する意義があると考えられる地域産業資源は以下のとおりである。

### (1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
こまつな	足立区、葛飾区、江戸川区
高尾(ぶどう)	練馬区 日野市、稲城市
東京しゃも	八王子市、あきる野市、青梅市 立川市
TOKYOX	八王子市、町田市 青梅市、福生市、瑞穂町
東京うどん	立川市、国分寺市
キウイフルーツ	三鷹市
紫草	三鷹市
うめ	青梅市

江戸東京野菜	小金井市
にんじん	清瀬市
稲城の梨	稲城市
のらぼう菜	あきる野市
シクラメン	瑞穂町
奥多摩やまめ	奥多摩町、青梅市、八王子市、あきる野市
あしたば	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村
てんぐさ	港区、大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村
さざえ	大島町、利島村
椿	大島町、利島村
たかべ	新島村、神津島村
アメリカ芋、ムラサキ芋	新島村
レザーファン	神津島村
フェニックスロベレニー	八丈町
島レモン	小笠原村
パッションフルーツ	小笠原村

(2) 鋳工業品又は鋳工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
江戸表具	千代田区、台東区
	江東区
	大田区
江戸刺繍	中央区
	新宿区
	江東区
	足立区
東京染小紋	新宿区
	世田谷区
	練馬区
東京手描友禅	新宿区、中野区、練馬区
東京無地染	新宿区、中野区、豊島区
江戸更紗	新宿区、豊島区
	荒川区
江戸木版画	文京区、台東区、荒川区
東京銀器	台東区、文京区、荒川区

東京くみひも	台東区
	杉並区
	北区
江戸漆器	台東区、中央区
	足立区
江戸鼈甲	台東区、文京区、墨田区、豊島区
江戸象牙	台東区、文京区、墨田区
江戸指物	台東区、荒川区、葛飾区
江戸衣装着人形	台東区、墨田区、江戸川区
江戸甲冑	台東区、文京区、墨田区
東京籐工芸	台東区
	豊島区
	足立区
東京打刃物	台東区、荒川区、足立区
江戸筆	台東区
	豊島区、練馬区
江戸からかみ	台東区、文京区
	江戸川区
	練馬区
東京七宝	台東区、荒川区、北区
江戸木目込人形	台東区、墨田区、荒川区
江戸つまみ簪	台東区、墨田区、荒川区
江戸簾	台東区
	港区
	江戸川区
江戸押絵羽子板	台東区、墨田区、江東区、葛飾区
服飾雑貨製品	台東区
皮革製品	台東区、荒川区、墨田区、葛飾区
玩具	台東区、荒川区、墨田区、葛飾区
文具	台東区、荒川区、墨田区、葛飾区
喫煙具	台東区、荒川区、墨田区、葛飾区
ニット製品	台東区、荒川区、墨田区、葛飾区
東京手植ブラシ	墨田区、台東区、荒川区
江戸硝子	墨田区、荒川区、文京区、江戸川区
江戸刷毛	墨田区、台東区、葛飾区
アパレル製品	墨田区
ちゃんこ	墨田区

江戸切子	江東区、墨田区、江戸川区
大森海苔	大田区
江戸木彫刻	大田区
	台東区、葛飾区、足立区
金型	大田区
産業用機械部品	大田区
東京彫金	杉並区
	台東区、文京区、足立区
東京額縁	荒川区、台東区
	豊島区
江戸和竿	荒川区、台東区、葛飾区
東京桐箆笥	荒川区、台東区
	品川区
計測・検査機器	板橋区
練馬の漬物	練馬区
東京仏壇	足立区、台東区、荒川区
東京本染ゆかた	葛飾区、江戸川区、足立区、墨田区
東京三味線	江戸川区
	台東区、豊島区、文京区
東京琴	江戸川区
	文京区
	渋谷区、杉並区
多摩織	八王子市
六地蔵のめぐみ黄金の水	小金井市
村山かてうどん	武蔵村山市
村山大島紬	武蔵村山市、瑞穂町
	昭島市
東京のくさや	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村
本場黄八丈	八丈町

(3)文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
旧新橋停車場跡	港区
NHK放送博物館 / 東京放送局跡	港区
泉岳寺	港区

増上寺	港区
東京タワー	港区
麻布十番商店街	港区
お台場海浜公園	港区
台場	港区
大石良雄ほか16人忠烈の跡	港区
旧芝離宮恩賜庭園	港区
国立新美術館	港区
新橋駅西口SL広場	港区
神宮外苑 / イチョウ並木	港区
新宿御苑	新宿区
東京都庁舎	新宿区
都電荒川線	新宿区、豊島区、北区、荒川区
河童のかっぱ橋本通り	台東区
両国国技館	墨田区
江戸・東京博物館	墨田区
隅田川	墨田区
橋銀座商店街	墨田区
砂町銀座商店街	江東区
亀戸天神	江東区
お江戸深川さくらまつり	江東区
深川江戸資料館	江東区
新木場のまちなみ(木材の町)	江東区
富岡八幡宮深川八幡まつり	江東区
かかしコンクール	江東区
馬込文士村	大田区
池上本門寺	大田区
羽田空港	大田区
中野ブロードウェイ	中野区
哲学堂公園と周辺の桜並木	中野区
新井薬師梅照院	中野区
浮間桜草圃場	北区
日暮里繊維街	荒川区
白山神社の大ケヤキ	練馬区
三宝寺池	練馬区
清水山憩いの森	練馬区

柴又のまちなみ	葛飾区
堀切のまちなみ	葛飾区
亀有のまちなみ	葛飾区
水元のまちなみ	葛飾区
高尾山	八王子市
道の駅八王子滝山	八王子市
井の頭恩賜公園	武蔵野市、三鷹市
三鷹の森ジブリ美術館	三鷹市
国立天文台	三鷹市
桜桃忌(太宰治を偲ぶ会)	三鷹市
山本有三記念館	三鷹市
吉野梅郷	青梅市
青梅宿	青梅市
御岳山	青梅市
御岳渓谷	青梅市
アキシマクジラ	昭島市
深大寺	調布市
小金井公園	小金井市
江戸東京たてももの園	小金井市
はけの道と湧水	小金井市
六地蔵	小金井市
小平グリーンロード	小平市
高幡不動尊	日野市
新撰組ゆかりの史跡	日野市
多摩動物公園	日野市
正福寺地蔵堂	東村山市
北山公園菖蒲苑	東村山市
八国山	東村山市
梅岩寺のケヤキ	東村山市
お鷹の道、真姿の池湧水群	国分寺市
大学通り	国立市
玉川上水新堀橋付近	福生市
ベースサイドストリート	福生市
多摩湖(村山貯水池)	東大和市
南沢緑地	東久留米市
秋川渓谷	あきる野市
阿蘇神社	羽村市



玉川上水・羽村堰	羽村市
まいまいず井戸	羽村市
羽村市動物公園	羽村市
根搦み前水田	羽村市
六道山	瑞穂町
払沢の滝	檜原村
都民の森	檜原村
椿林	大島町
三原山	大島町
波浮港	大島町
南ヶ山園地	利島村
大踊	新島村
羽伏浦海岸	新島村
神引展望台	新島村
天上山	神津島村
多幸湧水	神津島村
つづき湧水	神津島村
くじらの来遊域	小笠原村
いるかの来遊域	小笠原村
南島	小笠原村

### 3 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

#### (1) 個別地域産業資源に関する施策

##### ア 伝統工芸品産業の振興

都内には、歴史と風土に生まれ、その伝統を今に伝える伝統工芸品産業が数多く存在する。指定伝統工芸品を対象に、展示会の開催による市場開拓及び消費者への普及を進め、伝統工芸品産業の保存と発展を図る。

#### (2) 関連する施策

東京都においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の施策を実施する。

##### 中小企業支援体制の整備

東京には、区部地域、多摩地域のそれぞれに特色ある地域資源が集積している。こうした地域の強みを活かしながら、産業構造の変化に直面する中小企業への支援を強化

し、東京のものづくり産業を活性化していくことが重要である。そこで、老朽化が激しい地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「産業技術研究センター」という。）の本部（西が丘）及び駒沢支所を整理統合して江東区青海に移転し、区部地域における技術面での産業支援拠点として整備する。さらに、産業技術研究センター八王子支所と暫定施設である多摩中小企業振興センター（東京都中小企業振興公社多摩支社、産業技術研究センター多摩支所等を設置）を整理統合し、昭島市の都立短大跡地に多摩地域における産業支援拠点を整備する。

#### 技術・知財支援

地域資源を活用した新たな取り組みに対し、技術研究センターをはじめとする都の試験研究機関の技術協力、研究開発と事業化への支援を充実する。また、東京都知的財産総合センターにおいて、知財の活用や開発成果の権利化などの支援も強化する。

#### ネットワークづくり支援

東京に集中する大学や試験研究機関等の地域資源を活用するうえで、産学公連携の取り組みは重要である。そのため、「産学公スタートアップ助成支援事業」により、大学等と共同開発の合意に至った企業に対し、その第一ステップとなる共同研究及び委託研究の費用を助成し、初期費用に係るリスクを軽減する。

#### 地域工業の活性化

中小企業一社では達成困難な高付加価値製品の開発など、明確な事業目的を持って共同事業に取り組む中小企業グループを支援する「ものづくり新集積形成事業」により、地域資源の活用に取り組む中小企業群を創出する。

#### 産業人材育成

「ものづくり経営人材育成事業」により、産業技術大学院大学において実践的なMOI教育を行う。また、東京都知的財産総合センターにおいて知的財産の創造・保護・活用に力点を置いた、短期集中型の「ものづくり経営人材普及啓発セミナー」を実施する。これらの支援により、地域に存在する技術を目利きし、地域資源として活用できる人材の育成を図る。

また、将来中小企業のパートナーとなり得るデザイナーを育成するとともに、中小企業のデザイン活用を支援する「産学連携デザイナー育成プロジェクト」、プロのデザイナーを対象にした養成講座を実施する「スーパーデザイナー養成事業」により、製品の開発段階から、販売・マーケティング、宣伝・広報までを戦略的に捉えられる幅広い知識・技術力を有するデザイナーを養成する。

#### 創業支援

「TOKYO起業塾」（起業セミナー、起業の総合相談、人材育成、起業家と中小企業や

投資家との交流の場を提供)・「学生起業家育成支援事業」(経営試験と事業計画のプレゼンテーションによって優れた「学生起業家」を選出)・「社会的起業家育成支援事業」(地域の課題を解決し、地域ポテンシャルを向上させる担い手を育成するセミナーの実施)等を通じ、地域資源を活かして起業しようとする者を支援していく。

#### 制度融資

中小企業者等が事業の活性化等に必要な資金を円滑に調達できるよう、融資の原資の一部として都の資金を金融機関に預託し、低利融資を行なっている。このうち、新たな成長産業の育成等産業力強化に資する事業資金として、最優遇金利を適用する「産業力強化融資(チャレンジ)」などにより、施策と連携した取組に対する金融面からの支援を強化している。

#### 販路開拓支援

地域資源を活用して開発した成果を販売に結びつけるため、首都圏の中小企業の優れた技術や製品を一堂に展示する見本市「産業交流展」への出展を援助する。また、「中小企業ニューマーケット開拓支援事業」のビジネスナビゲータによる営業活動の支援の他、海外への販売を目指す際には「国際化対応力増強支援事業」や「海外展開自立化支援事業」を活用する。

#### 地域商業の活性化

「新・元気を出せ！商店街事業」の「地域連携型モデル商店街事業」により、地域住民やNPOなど地域団体と連携し、地域資源の活用による地域おこしや街づくりに取り組むモデル商店街を指定し、集中的に支援する。